

## 2 授業科目の概要

<工学研究科 ロボット理工学専攻（修士課程）>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
特別研究	特別研究A (研究指導)	1前	2			8		2	1			
	特別研究B (研究指導)	1後	2			8		2	1			
	特別研究C (研究指導)	2前		2		8		2	1			
	特別研究D (研究指導)	2後		2		8		2	1			
	小計(4科目)	—										
基礎科目	ロボットプログラミング	1前		2		1						
	ロボット動力学	1後		2		2					1	
	ロボットシステム制御学	2前		2		1						
	実践英語A	1前	2								1	
	実践英語B	1後	2								1	
小計(5科目)	—											
専門科目	モーションロボティクス	ロボットメカトロニクス	1・2前	2		1						
		ロボットアクチュエータ	1・2前	2		1						
		ロボットモーション演習	1・2後	2		2			1			
		小計(3科目)	—									
	コンピュータロボティクス	ロボットインテリジェンス	1・2前	2		1						
		自律エージェントロボティクス(研究用ロボット工学)	1・2後	2				1				
		システム神経科学特論	1・2前	2		1						
		ロボットビジョン演習	1・2後	2		1			1			
	小計(4科目)	—										
	システムロボティクス	ロボット・インテリジェンス(ロボットシステム設計)	1・2前	2		1						
応用システムロボティクス(画像・音声・触覚・ロボティクス)		1・2後	2								2	
システム最適設計		1・2前	2		1							
ヒューマン・ロボットインタラクション演習		1・2後	2		1				1			
小計(4科目)	—											
研究科共通	高速現象と可視化技術	1・2後		2								1
	工業数学特別講義	1・2前		2								1
	情報数理工学特別講義	1・2前		2								1
	原子力工学特別講義	1・2後		2								1
	技術英語特別講義A	1・2前		2								1
	技術英語特別講義B	1・2後		2								1
	科学技術史	1後		2								1
	小計(7科目)	—										
合計(27科目)	—											

卒業要件及び履修方法

本課程に2年以上在学し、指導教員の指導のもとに、必修科目及び選択科目を含めて30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で修士論文を提出して、その審査及び試験に合格することとする。ただし、優れた成績を上げた者については、在学期間は1年以上でよい。

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
特別研究	特別研究A (研究指導)	1前	2			8			3			
	特別研究B (研究指導)	1後	2			8			3			
	特別研究C (研究指導)	2前		2		8			3			
	特別研究D (研究指導)	2後		2		8			3			
	小計(4科目)	—										
基礎科目	ロボットプログラミング	1前		2		1						
	ロボット動力学	1後		2		2						1
	ロボットシステム制御学	2前		2		1						
	実践英語A	1前	2									1
	実践英語B	1後	2									1
小計(5科目)	—											
専門科目	モーションロボティクス	ロボットメカトロニクス	1・2前	2		1						
		ロボットアクチュエータ	1・2前	2		1						
		ロボットモーション演習	1・2後	2		2				1		
		小計(3科目)	—									
	コンピュータロボティクス	ロボットインテリジェンス	1・2前	2		1						
		自律エージェントロボティクス(研究用ロボット工学)	1・2後	2						1		
		システム神経科学特論	1・2前	2		1						
		ロボットビジョン演習	1・2後	2		1				1		
	小計(4科目)	—										
	システムロボティクス	ロボット・インテリジェンス(ロボットシステム設計)	1・2前	2		1						
応用システムロボティクス(画像・音声・触覚・ロボティクス)		1・2後	2								2	
システム最適設計		1・2前	2		1							
ヒューマン・ロボットインタラクション演習		1・2後	2		1					1		
小計(4科目)	—											
研究科共通	高速現象と可視化技術	1・2後		2								1
	工業数学特別講義	1・2前		2								1
	情報数理工学特別講義	1・2前		2								1
	原子力工学特別講義	1・2後		2								1
	技術英語特別講義A	1・2前		2								1
	技術英語特別講義B	1・2後		2								1
	科学技術史	1後		2								1
	小計(7科目)	—										
合計(27科目)	—											

卒業要件及び履修方法

本課程に2年以上在学し、指導教員の指導のもとに、必修科目及び選択科目を含めて30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で修士論文を提出して、その審査及び試験に合格することとする。ただし、優れた成績を上げた者については、在学期間は1年以上でよい。

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
特別研究	特別研究A (研究指導)	1前	2			8		2	1		
	特別研究B (研究指導)	1後	2			8		2	1		
	特別研究C (研究指導)	2前		2		8		2	1		
	特別研究D (研究指導)	2後		2		8		2	1		
	小計(4科目)	—									
基礎科目	ロボットプログラミング	1前		2		1					
	ロボット動力学	1後		2		2					1
	ロボットシステム制御学	2前		2		1					
	実践英語A	1前	2								1
	実践英語B	1後	2								1
小計(5科目)	—										
専門科目	ロボットメカトロニクス	1・2前		2		1					
	ロボットアクチュエータ	1・2前		2		1					
	ロボットモーション演習	1・2後		2		2			1		
	小計(3科目)	—									
	ロボットインテリジェンス	1・2前		2		1					
	自律エージェント・ロボットシステム(制作実習の付)	1・2後		2				1			
	システム神経科学特論	1・2前		2		1					
	ロボットビジョン演習	1・2後		2		1		1			
	小計(4科目)	—									
	システムロボット学	1・2前		2		1					
	応用システムロボット学(課題・演習・実習の付)	1・2後		2							2
	システム最適設計	1・2前		2		1					
ヒューマン・ロボットインタラクション演習	1・2後		2		1			1			
小計(4科目)	—										
研究科共通	高速現象と可視化技術	1・2後		2							1
	工業数学特別講義	1・2前		2							1
	情報数理工学特別講義	1・2前		2							1
	原子力工学特別講義	1・2後		2							1
	技術英語特別講義A	1・2前		2							1
	技術英語特別講義B	1・2後		2							1
	科学技術史	1後		2							1
小計(7科目)	—										
合計(27科目)	—										
卒業要件及び履修方法											
本課程に2年以上在学し、指導教員の指導のもとに、必修科目及び選択科目を含めて30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で修士論文を提出して、その審査及び試験に合格することとする。ただし、優れた成績を上げた者については、在学期間は1年以上でよい。											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。  
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

**【平成30年度】**

特になし。

**【令和元年度】**

- ・専攻教育内容充実のため、「応用システムロボティクス（医療・福祉・農業・林業ロボット）」の選任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・李載始助教の講師昇格により、「特別研究A」「特別研究B」「特別研究C」及び「特別研究D」の専任教員等の配置を「教授8、講師2、助教1」から「教授8、講師3、助教0」に変更。
- ・李載始助教の講師昇格により、「ロボットモーション演習」の専任教員等の配置を「教授2、講師0、助教1」から「教授2、講師1、助教0」に変更。
- ・李載始助教の講師昇格により、「ヒューマン・ロボットインタラクション演習」の専任教員等の配置を「教授1、講師0、助教1」から「教授1、講師1、助教0」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
4 科目	23 科目	0 科目	27 科目	4 科目 [0]	23 科目 [0]	0 科目 [0]	27 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目・・・該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目・・・該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{27} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。